

夏休み子ども環境科学教室



4 質の高い教育を
みんなに



12 つくる責任
つかう責任



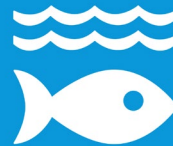
15 陸の豊かさも
守ろう



6 安全な水とトイレ
を世界中に



14 海の豊かさを
守ろう



KanKen

横浜市 環境創造局 環境科学研究所

日時 8月18日 (木) 天気 ☔→☀

午前の部 9:30~12:00

午後の部 13:30~16:00

会場 環境科学研究所 (神奈川区)

参加者 児童 20人 保護者 18人

プログラム

施設見学 (全体)

夏の暑さを知ろう or 水環境問題

目的

環境科学研究所の仕事を知ってもら
うほか、1人ひとりが楽しく環境につ
いて学び、自分たちでできることを探
して行動するきっかけとなる体験学習

横浜の夏を知ろう

～カメラを使った暑さしらべとセミの抜け殻しらべ～

🔍 セミの抜け殻しらべ 🔍

横浜市内のセミの抜け殻を参加者と職員と一緒に調べました。横浜にいるセミの種類や、鳴き声などを知ってもらい、身近な生き物について興味を深めてもらいました。

☀️ カメラを使った暑さしらべ ☀️

サーモカメラやレーザー温度計で温度を測定し、ミストでなぜ涼しくなるのか、洋服の色と暑さの関係など、暑さ対策に関する技術を体験しました。

セミの抜け殻しらべ



カメラを使った暑さしらべ

水環境問題

～マイクロプラスチックを調べてみよう～

マイプラあるかな？



分離・分析中

世界中で話題となっているマイクロプラスチック問題について、簡単な講義を行い、実際に市内の海岸等で採取した試料からマイクロプラスチックを分離・分析します。講義と作業を通じて、マイクロプラスチック問題について、何が問題なのか・私たちにできることは何なのかを考えてもらいました。

環境博士認定式 ～振り返り会～



環境博士の認定式



スピーチ



認定式の司会をしました

みんなの感想

サーモカメラでやった実験を生かして身の回りでどんなことをしたらすずしいか、打ち水以外にもないか調べてみたいです。

セミ
暑さ

マイクロプラスチックの説明や、実際の体験などがあったので、よりマイクロプラスチックについて、深く学べたので、すごく楽しかったです。また機会があったらいつかみたいくらいおもしろかったし勉強になりました。

マイ
プラ

知らなかったセミのせい別の分けかたが初めてわかってとてもうれしかった。

セミ
暑さ

プラスチックのしゅるいをみわけるきかいを使えてたのしかったです。

マイ
プラ

電子けんびきょうやサーモカメラなど、おもしろい道具がいっぱいあってたのしかった。セミのぬげがらはかえて調べてみたい。けんびクンカッコイ

セミ
暑さ

海岸の砂の中にたくさんのプラスチックが入っていておどろきました。今度いろいろな砂浜に行つてどのくらいマイクロプラスチックが入っているのかを調べてみたくなりました。

マイ
プラ

サーモカメラをはじめてつかつておもしろかった。セミのぬげがらで、6しゅ類のセミをはじめてみておもしろかったです。

セミ
暑さ

環境科学研究所

よかった点

環境科学研究所では、かつて、今回のような施設見学会を独自に行っていたが、子どもアドベンチャーの仕組みに参加することで、広報、参加者の募集～選考、保険手続きを効率的に行うことができ、その分の時間をプログラム準備に費やすことができた。また、ターゲットを小3～6年生としたことで、より分かりやすいプログラムを作成することができた。

反省点

かつて独自実施していた施設公開に比べると、来場者が少ない。（2017年参加者は親子約160人）また、大学生コーディネーターには、事前に各プログラムの詳細な打ち合わせをすれば、もう少し役割を担ってもらうことができたかも知れない。保護者参加について、必須とした方が良かったと感じた。



大学生コーディネーター

大学生コーディネーターのお2人ありがとうございました。

■海岸の砂の中にプラスチック破片や人工芝などマイクロプラスチックが想像以上に埋まっており、漠然としていた環境問題のイメージを明確にすることができました。今後、ポイ捨て防止対策への参加や、身近な人へ知識を伝えることで自分なりに輪を広げていきたいと感じました。

■何種類ものセミの抜け殻観察では、子供達も夢中で抜け殻の識別をされていて、私にも説明をしながら教えてくれるなど、一緒に作業をできて良い思い出になりました。

■参加した子ども達は、皆探究心があり、新たなことを学びたいという意欲がとても感じられました。職員の皆様とも積極的に交流することができ、直接お仕事にふれることができて、これからの将来への視野が広がりました。